

税理士試験受験対策
合格のヒケツボ
【税法編】

Since 2005/12/01~

S A M P L E

★★★★★
法人の勉強部屋

<http://www.houjinzei.com/>

■消費税法 [佐賀県]

4回目で合格しました。
秘訣は毎日の継続、積み上げです。やるべきことをやって、後は結果を待つ。本試験で力を出し切るようにもっていくことです。

■法人税法 [京都府]

やはり、最後まで諦めないこと。
最近の法人税法は、試験問題が予測不可能、でもそれは皆同じ。
持つてる資料を信じ、諦めず勉強したこと

■法人税法 [福岡県]

①ミスノートを作成したこと。(2~3行で簡潔に、項目・間違い原因・正解を書く)
②とにかくテキストと条文を読み込み、仕分けを書いて理論と計算を同時に勉強したこと。(特に法22条関連！)
③専門学校の問題を反復演習したこと。
「何回復習した」ではなく「自分は理解してんのか!？」を常に意識して、上記①②とセットで演習しました。

こんな感じです。今他の税法を勉強していますので、他の方のご意見楽しみにしています~!

■固定資産税 [滋賀県]

固定資産税は、今まで何度も計算でケアレスミスをしてしまい、合格できませんでした。今回の試験では、計算に82分も使ってしまいましたが、残りの時間で精一杯理論を書きました。合格の秘訣は、計算で満点を取ること!だと思います(一つミスをする、点数が一気に下がるので)。その為には、自分が合格したい科目をすきになって、あとは法人の勉強部屋で教えて頂いたことを信じてやる!
そう思うと、私にとっての合格の秘訣は、小谷先生に出会えたことだと思います。先生にめっちゃ感謝です。

■法人税法 [沖縄県]

法人4回目で合格。
秘訣は・・・やっぱりあきらめないことだと強く感じました。
合格する勉強方法はないと思います。そして自分の力を自分が信じてあげることでしょう。
今回法人で官報合格しましたが5科目を勉強して感じたことを会計科目、税法科目に分けて書きたいと思います。
まず簿財は専門学校の問題を時間を決めて解きまくりました。特に簿記論についてはかなり時間には厳しく勉強しました。
そして税法の法人、相続、消費ですが基本は専門学校の問題を解くのですが、専門学校のテキスト、問題集のみ勉強した時はなぜか不合格でした。
専門学校のテキストから少し離れ、法規集を読んで勉強したときはなぜか合格でした。
もちろん優先順位はテキストですがそれを完璧にし、法規集で確認する勉強がポイントです。
ぜひ法規集を読みこなす勉強をおすすめします。
そして最大のポイントはくどくなりますが「あきらめない」です。

■住民税 [三重県]

3歳の子と2ヶ月の子の2人をおかかえての勉強でした。住民税を選択するまでいろいろな科目の先生に受講相談し(今回受験するかしないかを含め)、住民税に決め勉強しました。前年に所得を合格していたので全く無知の状態でのスタートではなかったことが大きかったかもしれません。
幼稚園が春休みになったときは10日近く勉強ができず、泣きながら担当講師に「今年をあきらめる」と言ったときもありました。でも講師が遅れを戻すような計画を考えてくれ、「あきらめるのはいつでもできるからもう少し頑張ってみたら」と言ってくれたので「そうだ!もっとやってから泣き言

を言おう」と心を入れ替え「家事育児を犠牲にしているのだから来年以降はどんな結果でも勉強しない。今年が最後！！」と追い詰めていました。今年の合格に対する意欲は半端なかったです。隙間時間のフル活用でした。どんな状況でも意識の底から「合格」を願えば、ちゃんと結果が出ると実感しました。

■ 所得税法 [岐阜県]

第59回で法人税を、第60回で所得税と消費税に合格して、なんとか官報合格をすることができました。

第60回の試験勉強で新たに取り入れた秘訣は、ほとんどなく、第58回と第59回の法人税の試験勉強で、法人の勉強部屋などで取り入れた方法を、そのまま使っていました。

ただ、所得税は1回目の受験で合格することができたのですが、一回り目(TACでいえば年内完結コース)の基本的なその税法の勉強や応用理論の柱上げを始める時期は、少しずつ早めに始めるように意識していました。

試験の傾向は少しずつ変化しているのですが、一度コツをつかんでしまえば、あとはコツコツと毎日、なるべく淡々と、こなしていくのが良いのではないかと思います。

みなさんががんばってください！

■ 相続税法 [東京都]

税法科目は理論勝負だと思いますので、相続税を学習するに当たり理論で意識していたことを2つ書いていきたいと思います。

まず一つ目は、自分の能力を知ることです。自分の能力とは、解答として書くべき理論を解答用紙に、どのくらいのスペースで、どのくらいの時間で、書くことができるのかを把握することです。

今回の試験ではこの能力はとても活きました。本試験の際、理論の持ち時間と書くべき分量を考慮すると明らかに書ききれないと判断しました。しかし理論の柱を落とすことはまずいので、なんとか洩らさずに書きたい。そこで、書くべき理論のおおよそのスペースは分かっているため、書くべき理論の間隔を空けつつ柱をまず書いていきました。あとは、重要な順にベタに書いていき、重要度が落ちるものは作文で書きました。この結果満遍なく書くことができました。

二つ目は、見易い字を書くことです。このことの大事さにやっと気付きました。前回不合格だったときは、「この理論でしょ！はいはい！」みたいな感じで、字のことなど考えずにとりあえず書いていました。

しかし、この取り組み方は本試験の趣旨に反しているということが徐々に分かってきました。本試験というのは数枚の紙を通して、試験委員に自分が分かっているということを伝えなくてはいけないものです。その意思を伝えるためにも見易い字を書き、素直な気持ちで試験に臨むことが大切なのだと思います。

■ 所得税法 [大阪府]

RIN先生こんにちは。いつも貴重な情報をありがとうございます。

第59回本試験で所得税法に合格しました。

3回目の受験でした。

とにかく自信を持って本試験を迎えるために専門学校の答練で1位をとることを目標にがんばりました。

最終的に1位になることは一度もありませんでしたが、安定して上位1割に入れたことで、本試験当日も落ち着いて試験に臨めました。また、1位になる！というくらいの気持ちで勉強しないと上位1割にも入れないことが良くわかりました。

他の専門学校の直前模試にも積極的に参加し、自分の答案が他校の採点でも点数をもらえたことは、自信につながりました。

理論は書きすぎに注意しましたが、理論テキストに載っている知識だけでなく、実務の知識を含め自分の知識を端的に答案に書いてこよう！と思いました。ただの丸暗記でなく「人より少しでも力がある！」というアピールを答案にしたつもりです。

本当のところはわかりませんが、受かりたいという気持ちを他の人より少し工夫して答案に書けたことが、合格につながったのではないかと思います。

■ 所得税法 [三重県]

もともと所得税に興味があって税理士を目指した為、勉強が楽しかった。細かいことも気になったし、気になればすぐ講師に質問し解消した。「好きこそもののじょうずなれ」という感じ。苦手意識を持たず、好きになることが合格の秘訣かも！

■ 消費税法 [大阪府]

初めての税法で、しかも仕事や親の介護をしながらの受験でしたが1発で合格できました。

以下がこの1年間、私がやったことです。

1. 普段学習

(1) 自分の通っている学校のテキスト、理論集(理マス・理ドク)は全て覚える&理解する

: これができて初めて受験資格だと思います。

(2) 税法は色々な書籍や問題集に手を出しすぎない

: 自分の許容範囲内であれば、どんどん手を出してもOKかと思いますが、程が過ぎると消化不良になってしまいます。

私の場合は時間がなかったため、他校の問題には一切手を出しませんでした。その代わりに、自分の通っている学校のテキストや問題については、覚えるくらいまで解きこみました。

2. 理論

理論は何が問われているのか、出題者の意図をくみ取る

: 個人的には、書きすぎや規定の端折りはOK、柱の挙げモレはNGだと思います。

3. 計算

計算は時間をかけて丁寧に処理する箇所と、反射的に処理する箇所とを自分なりに分類する:

これは問題によって弱冠違ってくるかと思いますが、この感覚は普段学習や答練で磨きました。

4. その他

(1) 自分の得意なところを伸ばす

: 私は計算より理論が得意でしたので、理論を中心に勉強しました。

(2) コツコツと毎日勉強する

: 当たり前ですが、意外とこれできません(笑)

私の場合は、「昨日よりも今日の方が「賢く」なっている」ことを目標に勉強しました。

人間、少しでもラクして合格したいと思うものですが、結局のところ地道に努力した人だけが「合格候補者」になるんじゃないでしょうか。

(そこから「合格者」になるために、もう1つの壁があると思いますが、それを乗り越える方法は私も模索中です・・・)

ただ私の場合は、合格科目はすべてこの方法で1発合格しました。

ですので、方向性は間違っていないと信じて、残り科目もゲットしていきたいと思います。

■ 消費税法 [福岡県]

課税売上割合が95%以上になってしまったり、納税義務でケアレスミスをしてしまいましたが、なんとか合格することができました。

本試験では、みんな緊張するためある程度のミスは避けられないと思います。

消費税についても、法人の勉強部屋の教えの通りに、総合問題を中心に計算の論点の復習を行いました。

理論もヤマをできるだけ張らないように、すべての理論を直前まで繰り返し音読しました。

合格の秘訣は、いつもそうですが、どれだけ自信をもって本試験に臨めるかにかかっていると思います。

■ 法人税法 [千葉県]

授業の復習についてはやるべき事をマニュアル化し、毎日の勉強にムラが出ないようにしました。

テキストを読む、チェックを解く、等項目ごとにチェック欄を設け、小さ

な達成感を味わえるようにしたのもよかったと思います。
具体的な勉強法については、とにかくテキストを読み込みました。
理論も計算も、丸暗記だけでなく自分の言葉で説明出来るところまで理解
するよう心がけました。
本試験では理論については作文については自信がありましたが欲張らずな
るべく箇条書きにする等、読みやすく内容がぶれないよう注意して書しまし
た。
計算については、とにかく書けるコメントはすべて書こう、と意識しまし
た。
なので、模範解答にあったコメントはすべて書くことが出来ました。

■消費税法 [大阪府]

消費税の受験は今回で3回目でした。
最初からずっとTACの上級コースを受講してきたわけですが今年の本試験
問題の理論2題目についてTACの公開模試が的中したのでそれが勝因かな、
と当初は思いました。ただ冷静に過去の受験してきた本試験の出来具合と、そ
の評価（不合格通知に書いてあるA～D評価）を鑑みると勝負の分かれ目は専
門学校の講師の方々が皆いわれる、当たり前の問題を当たり前前に確実に解い
てくることができたか否かにあるのではないかと思います。
理論については毎年ひとつはマスターベタ書き、もうひとつは応用の2題
出題が最近続いています。不合格のときはベタ書き問題の精度が低かった
と思います。ベテランになるとついつい応用問題が勝負と思いがちになりま
すが、あくまでもベタ書き問題が一言一句正確に読んでもらえる字で書けて
いるか、が当たり前ですが一番大事だと思います。言うほど受験生のレベル
大したことないと思います。応用問題の出来具合など作問者の期待値満たす
答案書ける受験生なんて合格者でもほとんどいないのではと思います。
計算について、今年は税抜処理の問題で実務経験者が有利だったと思われ
る点もあります。でも当たり前前問題を確実に解答すれば合格ラインは案外
低いな、と思います。ちなみに私は今年、課税売上割合、中間納付額は間違
えましたが、基礎点積み上げられたのでしょうか、合格しました。
会計事務所に勤務していますが、合格してからがスタートということを目
々つくづく思います。大事なことは日々コツコツ努力すること、改めて胸に
刻んで残りの科目を獲りにいきます。

■法人税法 [岐阜県]

法人税、2回目のチャレンジで、無事、合格することができました。
ご報告が遅くなってしまい、申し訳ありません。
2回目の受験で無事に合格できたのは、本当に法人の勉強部屋のおかげで
す。ありがとうございます。
ところで、合格の秘訣ですが、
まず、一つ目は、毎日、少しずつでも、必ず勉強をすることだと思います。
二つ目は、法人の勉強部屋に限らず、必要なハウツーや情報に対して、お
金や労力を惜しまないこと。
三つ目は、やはり毎日、こつこつと必ず勉強することだと思います。
毎日、少しずつでも前に進んでいけば、時にはスランプに陥ったり、時に
は不安に押しつぶされそうになっても、最後には、ゴールにたどり着けると
いうことを、実感しました。
あと、テクニク的な話ですが、最近の（今の試験委員の方の）計算問題
の出題傾向から、清文社の「法人税事例選集」のような実務的な本を豆に読
むのが良いのではないかと思います。
あまり綺麗な話ではないですが、自分は、トイレの中で、少しずつ読んで
いました。
自分は、あと税法2科目、受かるまで絶対にあきらめずに進んでいきます。
RIN先生、本当にありがとうございました。

■消費税法 [東京都]

具体的な勉強法と試験中に意識したことを書いていきたいと思っています。
具体的な勉強ですが、まずはトレーニングの問題をしっかりとこなすこと。
その際少しでも疑問に思ったことは必ずテキストに戻って確認することをし
ていました。トレーニングをしっかりとやって基本事項をしっかりと定着させま
した。
基本事項が頭に入ったら次は総合問題です。機械的に出来るところもありま